

第2次ズーストック計画における2025年の取組状況について

東京都建設局公園緑地部計画課
2026年3月

■第2次ズーストック計画の概要

第2次ズーストック計画は、都立動物園・水族園（建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園及び環境局所管の大島公園動物園）を取り巻く状況の変化を踏まえ、平成元（1989）年度に策定した「ズーストック計画」を大幅に見直し、平成30（2018）年に策定された計画である。

124種の動物を対象とし、種それぞれに「飼育繁殖」「保全情報」「普及啓発」の3つの分野について、10年後の目標を設定し、それに向かって計画を立案し進めていくものである。

（1）飼育繁殖

計画的な繁殖と種の適正管理を推進し、国内外の野生動物保全に取り組む関係機関等との連携を強化しながら、種の保存に取り組む。

（2）保全情報

生物学的情報や保全取組情報を整理し、生息域外保全及び生息域内保全に貢献する。飼育マニュアルを策定し、都立動物園で培ってきた飼育繁殖技術等を維持していく。

（3）普及啓発

ズーストック種を活用した様々な環境学習や情報発信に取り組む。また、都立動物園等が将来の野生動物保全の担い手を育む場となるべく、効果的な環境教育や野生動物保全の普及啓発を推進する。

■取組状況について

上記（1）～（3）の項目について、その目標達成に向けて毎年、計画の作成及び実施状況の確認を行っている。計画対象の全124種について、令和7（2025）年（1月1日～12月31日）の成果などを次のとおり報告する。

■ 2025 年の取組について

(1) 飼育繁殖について

繁殖を目指していた種のうち、哺乳類 13 種(コビトカバ、ボルネオオランウータン、シロテテナガザル等)、鳥類 14 種(オオフラミンゴ、ショウジョウトキ、ケープペンギン等)、両生類 6 種(トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエル等)、魚類 5 種(ミヤコタナゴ、トビハゼ等)、無脊椎 2 種(アナカタマイマイ、カタマイマイ)の繁殖に成功した。また、産卵は確認されたものの孵化に至らなかった鳥類の事例は 12 種であった。

主な繁殖事例として、コビトカバで 13 年ぶりに自然繁殖による出産があり仔は順調に成育している。また、長期間繁殖がなかったトウキョウダルマガエルは飼育環境を工夫し繁殖に至っている。

チンパンジーやホッキョクグマ、ライチョウなどでは、精液採取や人工授精、受精卵の輸送、人工育雛など人工繁殖技術を利用した多くの取組が見られ、自然交配が困難な状況に置かれた個体の繁殖などに向けた取組の成果が得られた。

《主な取組実績例》

- ・ブリーディングローンで他施設から借受けたコビトカバのオスとの繁殖でメス 2 頭がそれぞれ雄 1 頭、雌 1 頭を出産し仔が順調に成長している。(上野動物園)
- ・ボルネオオランウータンが自然繁殖し仔が順調に成長。(多摩動物公園)
- ・海外導入したライオンの繁殖により新たな血統が確保。(多摩動物公園)
- ・産卵環境を工夫して、トウキョウダルマガエルが数年ぶりに繁殖した。(井の頭自然文化園)
- ・ウミガラスの遺伝的に良好なペアの繁殖に成功した。(葛西臨海水族園)
- ・オリオオコウモリが自然繁殖し仔が順調に成長。(大島公園動物園)

(2) 保全情報について

飼育技術の継承のため、各種の基礎的な情報や飼育繁殖のための基本事項等を全種において取りまとめ、随時更新している。令和 7 (2025) 年は、ズーストック種の生息域内および域外保全を推進するために、都立動物園以外の機関と連携した取組も多く、人工授精の実施など繁殖に関する取組の協力、ホルモン測定などの繁殖生理や食性や行動特性の解明などに関する研究などの共同研究も多く実施された。これら共同研究などの一部については、成果を会議や論文などで発表した。

《主な取組実績例》

- ・大学と連携して「動物福祉に配慮したアイアイの飼育管理に関する研究」を開始した。(上野動物園)
- ・大学協力のもとホッキョクグマの人工繁殖に向けて精液採取、人工授精を実施した。(上野動物園)
- ・(公社) 日本動物園水族館協会のチンパンジー計画管理者として国内動物園のチンパンジーの飼育状況を分析し、繁殖計画の作成、実施を主導している。(多摩動物公園)
- ・トビハゼの保全のため関係 8 施設と保全連絡会を開催した。繁殖の取組みや巣穴や稚魚についてのフィールド調査の実施と取組を発表、報告した。(葛西臨海水族園)
- ・多摩市でのアカハライモリの生息域内保全の取り組みとして保全地の整備、生息地の森林エリアの推定個体数を調査実施した。(井の頭自然文化園)
- ・他研究機関とカラスバトの食性や行動特性の解明に向けた共同研究の開始。保護されたカラスバトの治療と放鳥。(大島公園動物園)

(3) 普及啓発について

教育普及イベント、講演会やガイドなど多くの普及啓発活動が1年を通して各園で取組まれた。オンライン参加型のイベント手法が定着しており、シンポジウムや生息地との交流など多人数の参加が可能な企画が継続して実施されている。X(旧ツイッター)などのSNSやズーネットを利用したタイムリーな情報発信が強化されている。来園者への保全の取組の紹介も多く行われ、井の頭自然文化園では、2025年に一般公開を開始したアマミトゲマウスの普及啓発に取組み、本種を含む奄美大島の生きものと環境について伝える催しも開催した。

《主な取組実績例》

- ・「世界ゴリラの日」に国内のゴリラを飼育する動物園と連携したイベントを実施。ワークショップではゴリラの危機を学ぶゲームを開発。使用済スマートフォンの回収を行い、保全への貢献を促進した。(上野動物園)
- ・コアラの日に開催した保全イベント「Action for KOALA—みんなで守ろう!コアラとコアラのくらす森」では、コアラの保全情報等を提供。国内のコアラ飼育動物園がリレーでSNS発信を実施した。(多摩動物公園)
- ・イベント「つどえ オロロ〜ン!」を開催し、パートナーシップ協定を結んでいる羽幌町や環境省の職員を招いて、ウミガラスの繁殖地である天売島における保全活動に関する最新の研究成果等を参加者に紹介した。あわせて、園での取組も紹介した。(葛西臨海水族園)
- ・常設展示水槽を活用した企画展を開催し、身近な水辺環境の変化や生息する生物への影響、ニホンアカガエルをはじめとする東京産カエル類の危機的状況および保全の取り組みなどについて普及啓発を行った。(井の頭自然文化園)
- ・アルダブラゾウガメの引っ越しでは、体重測定様子の公開や担当者のトークなどの来園者向けイベントを実施し本種の普及啓発に取組んだ(大島公園動物園)



13年ぶりに繁殖したコビトカバ
(上野動物園)



環境を工夫し数年ぶりの繁殖となったトウキョウダルマガエル
(井の頭自然文化園)



トビハゼの保全に取組む
(葛西臨海水族園)



アマミトゲネズミの一般公開と関連するイベントの開催
(井の頭自然文化園)



国内の飼育繁殖状況を解析し、日本動物園水族館協会チンパンジー飼育の計画管理に貢献した。
(多摩動物公園)



アルダブラゾウガメに関するイベントや情報発信に取組む
(大島公園動物園)

○全 124 種の取組状況一覧

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
1	コアラ科	コアラ	多摩	・国内繁殖計画に沿った繁殖の取組を実施している。 ・世界コアラの日に合わせてイベントを実施した。
2	ゾウ科	アジアゾウ	上野	・2020年に生まれたオス「アルン」と母ゾウ「ウタイ」の親仔分離と「ウタイ」と雌の「スーリヤ」の再同居を実施して、適切な群れ管理を行う。
3	ゾウ科	スリランカゾウ	多摩	・若ペアの終日同居を可能にし、繁殖を目指した取組を進めている。
4	ゾウ科	アフリカゾウ	多摩	・冬季の飼育環境を改善する取組を実施した。 ・「飼育の日」「世界ゾウの日」「都立動物園アフリカフェア」でパネル展示やキーパーズトークを行った。
5	キツネザル科	クロキツネザル	上野	・群れの安定、動物福祉向上のため群を2グループに分けて適切な飼育管理を実施した。 ・「世界キツネザルの日」における情報発信。
6	キツネザル科	ワオキツネザル	上野 大島	・適切な飼育管理のもと動物福祉向上に取組んだ。 ・「世界キツネザルの日」における情報発信。
7	キツネザル科	クロシロエリマキキ ツネザル	上野	・ペアリングを実施、交尾は確認したものの繁殖には至っていない。 ・「世界キツネザルの日」における情報発信
8	アイアイ科	アイアイ	上野	・国内外と情報交換を行い、飼育繁殖スペースの確保を目指す。 ・「世界キツネザルの日」にイベント実施、情報発信。
9	ロリス科	レッサースローロリス	上野	・日本動物園水族館協会の計画管理者として国内の飼育園館との調整を実施
10	オマキザル科	ワタボウシタマリン	上野	・雌の死亡により繁殖への取組が停滞している。
11	オナガザル科	ブラッサグエノン	上野	・成獣の雄の搬出と新たな雌の受け入れに向け情報収集を実施している。
12_1	オナガザル科	ホンドザル	多摩	・遺伝的占有度を考慮した繁殖計画に取組んでいる。 ・母系系統図、父子判定結果をもとにした適切な群れ管理計画に取組める環境が整った。
12_2	オナガザル科	ホンドザル (下北個体)	上野	・リニューアル工事に伴う仮動物舎での適切な飼育管理を実施している。 ・「さよならサル山」イベントを実施した。
13	オナガザル科	アビシニアコロブス	上野	・適切な血統管理のもと、1頭が繁殖した。
14	テナガザル科	シロテナガザル	上野 多摩	・昨年導入した上野の新規ペアが繁殖。
15	ヒト科	ニシゴリラ	上野	・日本動物園水族館協会の国内のゴリラ繁殖計画に沿ってゴリラの移動を確実に実施した。 ・「世界ゴリラの日」に国内全飼育園と連携したイベントを実施するなど多くの普及啓発に取組んだ。
16	ヒト科	チンパンジー	多摩	・ブリーディングローンで来園したメスの出産や凍結精液による人工授精など繁殖の取組が進んでいる。 ・日本動物園水族館協会のチンパンジー計画管理者として国内繁殖計画の策定と推進を主動している。
17	ヒト科	ボルネオオランウー タン	多摩	・出産の際、若い雌が見て学習できるように取組んだ。
18	リス科	ニホンリス	上野 井の頭	・他園からの搬入や野生個体の保護などで新たな血統を入手できるように情報収集に努める。
19	ネズミ科	アマミトゲネズミ	井の頭	・貴重な血統の繁殖に取組み、成果を上げる。 ・一般公開に合わせて特設展示を行った。
20	オオコウモリ科	オリイオオコウモリ	上野 井の頭 大島	・各園、適正個体群を維持している。大島では群を適切に管理して1頭が繁殖した。
21	センザンコウ科	ミミセンザンコウ	上野	・1頭飼育のメスが死亡して飼育個体が不在となった。個体導入の情報収集を行っていく。
22	ネコ科	アフリカチーター	多摩	・日本動物園水族館協会の計画に従って繁殖に取組んでいる。
23	ネコ科	マヌルネコ	上野	・2024年生まれの子が成長し、繁殖のために他の動物園に搬出した。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
24	ネコ科	ベンガルヤマネコ	上野	・メス1頭を他園に貸出中。現在飼育個体なし。入手の可能性について調査を継続している。
25_1	ネコ科	アムールヤマネコ	井の頭	・飼育スペースの関係から令和7年は繁殖制限し、適切な維持管理を実施した。
25_2	ネコ科	アムールヤマネコ (ツシマヤマネコ)	井の頭	・環境省の計画に基づき雄2頭を適正に飼育 ・「ヤマネコ祭」で保全活動を行う団体を招いて多くの人に情報発信
26	ネコ科	ライオン	多摩	・2023年に海外から導入したオスを用いた繁殖に取り組み、2頭(雄雌各1頭)の繁殖があり新しい血統が産まれている。
27	ネコ科	アムールトラ	多摩	・2024年に生まれた仔は順調に成長し、親仔分けが完了した。次の繁殖に取組む予定である。
28	ネコ科	スマトラトラ	上野	・2023年に生まれた3頭を他の動物園に搬出するため親仔分離し、次の繁殖に取組み2頭が産まれた。 ・「トラ博士になろう」の企画や多くの情報発信を通して本種の保全に関する普及活動に取組んだ。
29	ネコ科	ユキヒョウ	多摩	・頭数の減少や高齢化で繁殖への取組に課題がある。
30	イヌ科	ヨーロッパオオカミ	多摩	・導入調整していたドイツから雄1頭を導入した。2024年に導入した雌との繁殖に取組んでいる。
31	イヌ科	フェネック	井の頭	・繁殖を目指して同居を実施したが繁殖に至らなかった。 ・多摩動物公園のアフリカフェア関連企画として飼育係が本種についてのお話を行った。
32	クマ科	ジャイアントパンダ	上野	・双子返還に向けた健康維持のため飼育管理を適切に実施した。 ・返還に向けて多くの情報発信を行い、来園者への理解を深めた。
33	クマ科	マレーグマ	上野	・老齢のメスが死亡したため飼育頭数が0頭になる。新規個体導入に向けた情報収集を実施している。
34	クマ科	ホッキョクグマ	上野	・大学の協力でメスへ人工授精を実施したが繁殖には至らなかった。 ・ホッキョクグマの日などに保全について情報発信。
35	クマ科	ニホンツキノワグマ	上野 多摩	・飼育環境に適した個体数の飼育管理を実施した。 ・上野では冬眠している状態を展示した。
36	イタチ科	ホンドテン	井の頭	・オスのみの飼育のため、メスの導入に向け模索中。 ・繁殖に向けた参考目的にツシマテンの保護若オスを受入れ飼育継続中。
37	レッサーパンダ科	シセンレッサーパンダ	上野 多摩 大島	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、各園が適切な飼育管理を実施 ・各園 SNS などを用いて豊富な情報発信を実施
38	ウマ科	モウコノウマ	多摩	・干支の企画展「もう、このウマ知ってる？」を実施して生態や野生の現状を伝えた。
39	ウマ科	グレビーシマウマ	多摩	・老齢個体の死亡したものの、他の動物園から雄を1頭導入した。今後雌を1頭導入する予定である。
40	バク科	マレーバク	多摩	・インドネシアから雌を1頭導入した。繁殖を目指して、雄との同居を進めている。
41	サイ科	ヒガシクロサイ	上野	・飼育係による定期的なトークと「世界サイの日」に特別トークを行った。
42	サイ科	インドサイ	多摩	・2024年に産まれた仔「デコポン」が順調に成長し1才で600kgの体重を計測 ・母親「ゴボン」の育児行動等を観察し、岐阜大と共同研究を進めている。
43	カバ科	コビトカバ	上野	・ブリーディングローンの雄と雌2頭がそれぞれ出産し計2頭(雄1、雌1)の繁殖の成果があった。 ・仔の命名募集など繁殖関連企画を多く実施した。
44	カバ科	カバ	上野	・雌のみの単性飼育で適切な健康管理に努めている。 ・定期的なキーパーズトークの実施
45	ウシ科	バーバリーシープ	大島	・10頭が繁殖している。マイクロチップによる管理を実施している。
46	ウシ科	ゴールデンターキン	多摩	・繁殖再開に向けて個体搬出の調整を継続

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
47	ウシ科	ニホンカモシカ	上野 多摩 井の頭 大島	<ul style="list-style-type: none"> 井の頭で1頭出産があり4年連続の繁殖成功 大島で雌1頭が死亡し、飼育個体がいなくなる。
48	ウシ科	シロオリックス	多摩	<ul style="list-style-type: none"> アフリカ園の新しい飼育施設への移動を完了した。
49	カモ科	コクガン	多摩	<ul style="list-style-type: none"> メス2羽の飼育を継続。オスの導入について情報収集を行っている。
50	カモ科	ハワイガン	大島	<ul style="list-style-type: none"> イタチなどの食害対策を実施している。
51	カモ科	シジュウカラガン	上野 多摩 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園とも適度な飼育個体数を維持
52	カモ科	ヒシクイ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖に取組み産卵まで進んだ。今後も取組を継続。
53	カモ科	マガン	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 産卵がみられたが無精卵であった。新たなオスの導入を急ぐ。
54	カモ科	カリガネ	多摩 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 多摩で繁殖があり順調に育成している。
55	カモ科	オシドリ	多摩 井の頭 大島	<ul style="list-style-type: none"> 各園適切な個体管理を行い、井の頭で繁殖した。
56	カモ科	トモエガモ	井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 飼育展示個体なし。導入に向けた情報収集を継続中。
57	キジ科	ライチョウ	上野	<ul style="list-style-type: none"> 凍結精液による人工授精を実施し技術開発を行う。 外国人来園者向け英語ガイドを実施した。
58	キジ科	ニジキジ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖に取り組み有精卵を得るが孵化しなかった。環境を改善しより効果的な繁殖の取組を継続する。
59	キジ科	コサンケイ	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 上野はスペース不足のため繁殖制限を実施した。 多摩は、産卵までであったが孵化には至らず。上野から雄を搬入し繁殖に取組んでいく。
60	キジ科	パラワンコクジャク	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 上野は飼育環境に適した個体数の飼育を維持。 多摩は有精卵を得るも孵化に至らず。繁殖に適した環境を整えて取組を継続する。
61	ペンギン科	オウサマペンギン	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 施設補修のため繁殖制限。他の園館と遺伝学を考慮した個体の入れ替えを実施し次期繁殖に取組む。
62	ペンギン科	ケープペンギン	上野	<ul style="list-style-type: none"> 飼育頭数維持のため1羽を繁殖させた。
63	ペンギン科	フンボルトペンギン	葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 日本動物園水族館協会の計画に沿って、適切な飼育・繁殖を実施している。
64	フラミンゴ科	オオフラミンゴ	多摩 大島	<ul style="list-style-type: none"> 多摩：適切な営巣環境を提供し2年連続で繁殖した。 大島：分散受け入れを継続している。
65	フラミンゴ科	ベニイロフラミンゴ	上野	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に続き繁殖が継続している。 Zoo スクールで本種の考察をコースに入れたプログラムを実施した。
66	コウノトリ科	ナベコウ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 保全で連携する韓国の大学との協力体制を継続。
67	コウノトリ科	コウノトリ	上野 多摩 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 多摩：日本動物園水族館協会の計画に沿った繁殖と他の施設と個体の搬出入を実施した。 井の頭：多摩から分散飼育個体を受入れている。
68	トキ科	ホオアカトキ	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 上野：繁殖推進のため多摩から個体を受入れる。 多摩：飼育状況に応じた計画的な繁殖を進めている。
69	トキ科	トキ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 6羽の雛が育成しているが、そのうち3羽は低気温などで成育が悪かったため人工育雛で対応した。
70	トキ科	ショウジョウトキ	多摩 大島	<ul style="list-style-type: none"> 優先ペアの繁殖を確実に実施するため、人口育雛や経験豊富なペアに託して多摩で4羽の雛が成育。
71	ハシビロコウ科	ハシビロコウ	上野	<ul style="list-style-type: none"> ハシビロコウ国際繁殖プログラムへ加入した。
72	コンドル科	コンドル	上野	<ul style="list-style-type: none"> 施設改修のための繁殖制限
73	タカ科	コシジロハゲワシ	上野	<ul style="list-style-type: none"> 施設改修のため、搬出予定

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
74	タカ科	ダルマワシ	多摩	・ 個体死亡で飼育展示が中断となっている。 ・ 新規導入について検討を続けている。
75	タカ科	クマタカ	上野 多摩	・ 上野：施設改修のため繁殖制限中 ・ 多摩：上野から移動した1羽を適切に飼育展示中
76	タカ科	イヌワシ	多摩	・ 南三陸のイヌワシ野生復帰プロジェクトに協力している。
77	タカ科	ツミ	井の頭 大島	・ 井の頭で繁殖に向けた取組 ・ 大島で保護などによるオスの導入を模索中
78	タカ科	オジロワシ	多摩 大島	・ 適切な個体管理に基づき飼育
79	タカ科	オオワシ	上野 多摩	・ 日本動物園水族館協会の計画に基づき、適切な個体管理を実施
80	タカ科	ノスリ	上野 大島	・ 上野：上野は施設整備に伴い、現在飼育個体なし。 ・ 大島：繁殖に向けた取組を実施
81	ツル科	ソデグロヅル	多摩	・ 鳥インフルエンザ対策工事完了したため、繁殖に取組んでいく。
82	ツル科	マナヅル	多摩 井の頭 大島	・ 各園の飼育個体は適切に管理。日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組む
83	ツル科	タンチョウ	上野 多摩 葛西 井の頭	・ 各園の飼育個体は適切に管理。日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組む
84	ツル科	オグロヅル	上野 多摩	・ 日本動物園水族館協会の計画に基づき他園と連携。上野でメスのみの単性飼育となっている
85	ウミスズメ科	ウミガラス	葛西	・ 日本動物園水族館協会の計画に基づき繁殖に取り組み、遺伝的に良好な卵から2羽の雛が成育
86	ウミスズメ科	エトピリカ	葛西	・ 自然および人工で2羽が孵化するが育成せず ・ 環境省や研究機関と連携した保全、研究に取り組む。
87	ハト科	カラスバト	上野 多摩 井の頭 大島	・ 各園飼育個体を適切に飼育管理 ・ 大島と都立高校、国の研究機関で共同研究実施
88	ハト科	アカガシラカラスバト	上野 多摩 井の頭	・ ポテンシャルファウンダーの繁殖を再開し多摩で2羽が成育している。 ・ 国や都の保護増殖事業計画や日本動物園水族館協会の計画に従った飼育繁殖、普及啓発を行っている。
89	ハト科	シラコバト	上野	・ 施設改修を控えているため、現状の適切な飼育管理を継続している。
90	フクロウ科	オオコノハズク	上野 多摩 井の頭 大島	・ 各園の役割と状況に応じて適切な個体管理を行い、飼育を維持している ・ 多摩：有精卵の産卵があるも、孵化まで至らず ・ 大島：血統管理のため井の頭からメスを導入した。
91	フクロウ科	ワシミミズク	多摩	・ 繁殖を進めているが、産卵はあるものの無精卵。
92	フクロウ科	フクロウ	上野 多摩 井の頭 大島	・ 各園の役割と状況に応じて適切な飼育管理を行った ・ 多摩：産卵があるものの無精卵であった ・ 上野：施設改修のため搬出予定
93	オオハシ科	オニオオハシ	上野 大島	・ 上野：施設解体のため搬出予定 ・ 大島：嘴打ちは見られたが孵化には至らず
94	ハヤブサ科	ハヤブサ	井の頭 大島	・ 各園：繁殖に向けて飼育環境の改善に取り組む
95	カラス科	ルリカケス	上野 井の頭	・ 自然繁殖により雛4羽が成育 ・ 井の頭：10月に上野からオス1羽を受入れペアでの飼育開始
96	リクガメ科	アルダブラゾウガメ	大島	・ 室温調整など繁殖環境の改善に努めた。 ・ 交尾行動、穴掘り行動はあるものの産卵には至らず。 ・ 引っ越しや椿祭りイベントなどで普及啓発を実施。
97	クロコダイル科	ニシアフリカコガタワニ	上野	・ 適切な個体管理を実施し、交雑種の搬出と純粋種の導入を模索している。
98	ワニトカゲ科	チュウゴクワニトカゲ	上野	・ 繁殖に向けて取組みつつ新規個体導入も模索している。

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
99	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施している。 葛西、井の頭では飼育環境を改善し2年連続して繁殖継続。 企画展示「水辺の自然」生き物において成体展示の継続。
100	イモリ科	アカハライモリ	上野 多摩 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園安定した個体群の維持を実施している。 生息域内にて調査と環境整備を継続している。 近隣中学校の生物クラブの生徒に実習の機会を提供。
101	イモリ科	イボイモリ	上野	<ul style="list-style-type: none"> 飼育状況を考慮し繁殖に取組み、育成している。
102	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	上野 多摩 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 飼育環境に適した個体数の飼育を維持している 井の頭で繁殖に成功
103	アマガエル科	ニホンアマガエル	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 上野は適切な繁殖に取組む。 井の頭は展示のみ。 葛西はリニューアルに伴い取組を中止する。
104	アカガエル科	ニホンアカガエル	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 葛西、井の頭で繁殖に成功 3園で繁殖に取り組む
105	アカガエル科	トウキョウダルマガエル	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施 井の頭で数年ぶりに繁殖。上野へ分散移動
106	アカガエル科	ムカシツチガエル※	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施 葛西で繁殖に成功
107	アカガエル科	ヤマアカガエル	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施
108	アオガエル科	カジカガエル	上野 葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施
109	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	上野 多摩 葛西	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施
110	アオガエル科	モリアオガエル	上野 多摩 葛西	<ul style="list-style-type: none"> 各園の役割に応じた個体管理を実施
111	メジロザメ科	アカシュモクザメ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖に適した健康な個体を育成中。繁殖可能な体サイズに達するにはあと数年必要と考えられる
112	コイ科	ミヤコタナゴ	井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 新規導入個体群の繁殖を継続させている
113	コイ科	ゼニタナゴ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 累代飼育を安定的に継続している 産卵に必要な二枚貝を用いた採卵も実施
114	メダカ科	ミナミメダカ	葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 葛西で調布市産及び葛飾区産の個体、井の頭で杉並区産の個体を飼育。それぞれの個体群で繁殖
115	トゲウオ科	ムサシトミヨ	井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 安定した繁殖実績で、累代飼育を継続している
116	ヨウジウオ科	タツノオトシゴ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 飼育個体の入手が困難な状況。近縁種で飼育繁殖技術の獲得に取り組んでいる。
117	ベラ科	メガネモチノウオ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 適切な個体管理に基づき飼育している。
118	ハゼ科	トビハゼ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 2年続けて繁殖を継続している。
119	シジミチョウ科	オガサワラシジミ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> 飼育受け入れ態勢維持のため食草管理、近縁種の飼育を継続している。 生息地での調査に飼育担当職員が参加した。
120	ナンバンマイマイ科	アナカタマイマイ	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 各園の飼育個体は適切に維持、管理している。 上野ではチチジマカタマイマイについても飼育繁殖 環境省と協議し、遺伝的多様性に配慮しながら計画的な繁殖に取り組んでいる

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
121	ナンバンマイマイ科	カタマイマイ	葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> 各園の飼育個体は適切に維持、管理している。 葛西ではキノボリカタマイマイも飼育繁殖。 環境省と協議し、検疫体制の構築に協力するための寄生生物の確認検査をおこなった。
122	ミドリイシ科	スギノキミドリイシ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> 6.5t 水槽で飼育管理。産卵誘発を試みた SNS 等での情報発信や、「いきものミカタプロジェクト」でサンゴ類の状況や保全の取組について発信
123	アザミサンゴ科	アザミサンゴ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> LED 照明下で順調に成長。繁殖に向けてサンゴ類の成長により良い照明への更新を予定する SNS 等での情報発信や、「いきものミカタプロジェクト」でサンゴ類の状況や保全の取組について発信
124	キクメイシ科	キクメイシ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> LED 照明下で順調に成長。繁殖に向けてサンゴ類の成長により良い照明への更新を予定する SNS 等での情報発信や、「いきものミカタプロジェクト」でサンゴ類の状況や保全の取組について発信